

使用済み商用車架装物 解体マニュアル

トラックミキサ

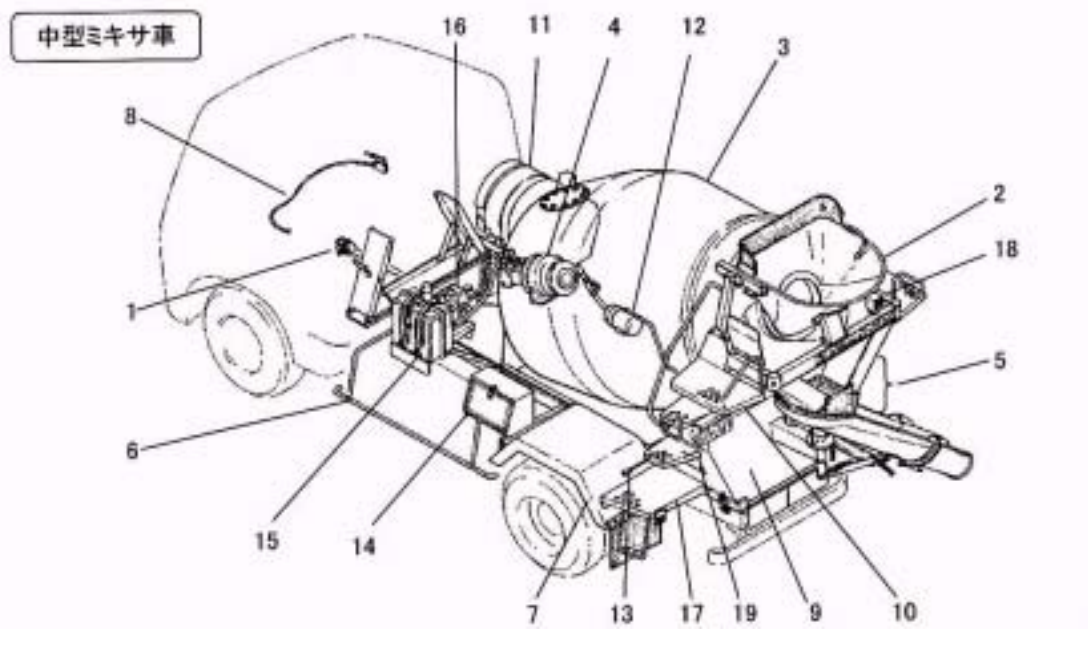
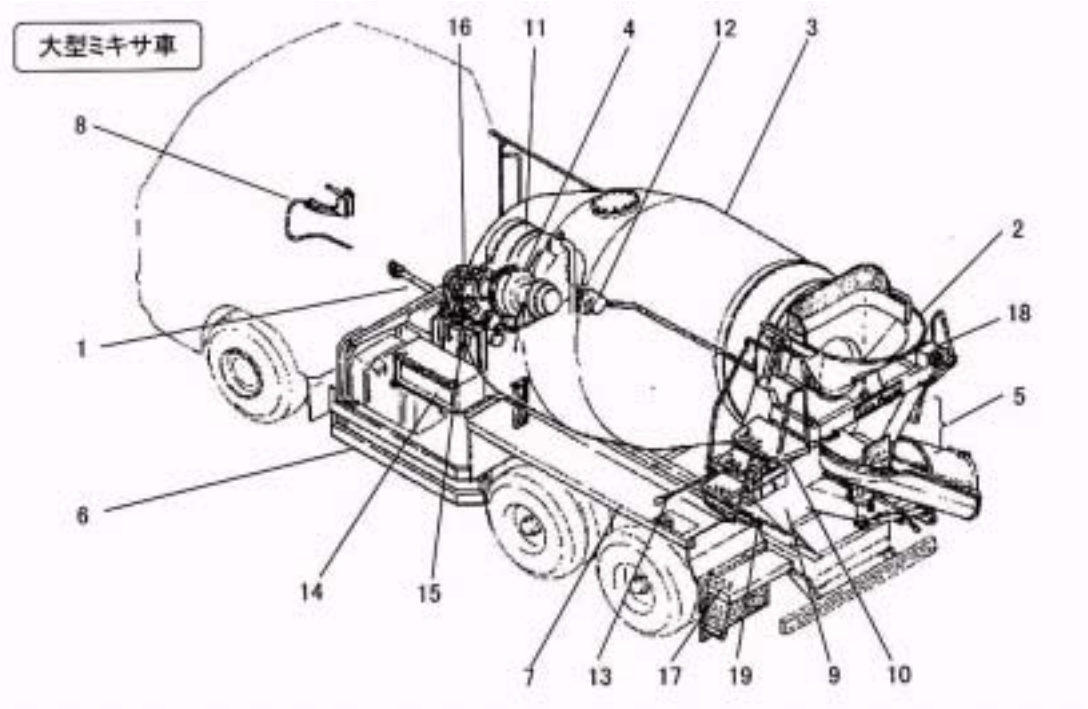
1. 解体マニュアルは一般的な事例を示しています。掲載している図、表は実物と異なる場合がございますのでご了承ください。
2. 解体作業に伴う作業上の注意事項、事前選別対象部品、環境負荷物質の取り扱い等につきましては、「使用済み商用車架装物解体マニュアル（新明和工業株式会社 共通編）」を併せてご覧ください。
3. このマニュアルは解体方法に関する参考資料としてご提供するものですので、実際の解体作業においては各社様のご判断により作業を進めてください。

内 容

1. コンクリートミキサ車架装物の構造概要
2. 解体時の注意事項
3. 解体前の準備作業
4. 解体手順
5. お問い合わせ窓口

新明和工業株式会社

1. コンクリートミキサ車架装物の構造概要



番号	品目名称	番号	品目名称
1	ドライブシャフト	11	水タンク
2	ホッパ	12	水ポンプ & 水配管
3	ドラム	13	操作装置 & 連結ロッド類
4	減速機 & 油圧モータ	14	工具箱
5	シュート & スクープ	15	作動油タンク
6	サイドガード & タイヤ歯止め	16	油圧ポンプ & ホース
7	フェンダ & 泥よけ	17	フェンダ後方ステップ
8	キャブ内操作コントロールケーブル	18	作業灯
9	前方支持台、後方支持台	19	各種ネームプレート
10	ガイドローラ		

2. 解体時の注意事項

解体作業時には下記注意事項を遵守してください。

- 1) 安全な作業を行うに当たって、定められた作業服、作業帽、安全靴を着用し、作業内容に応じて保護メガネ、耳栓、防塵マスク等の保護具を着用してください。
- 2) 高所作業については、安全带、足場の確保等転落防止処置を講じてください。
- 3) 油脂の回収に当たっては、地下浸透や施設外流出が発生しない環境下及び方法で行ってください。
- 4) コンクリートが固着しているドラムやシュート、ホッパ等を溶断にて解体する場合には、コンクリートの跳ね等に飛散十分注意して行ってください。
- 5) 解体前にドラム内のコンクリートの付着、残量状況を確認し、ドラムの吊り上げ荷重を考慮してください。

コンクリートの密度は約 $2,400 \text{ kg/m}^3$ あります。

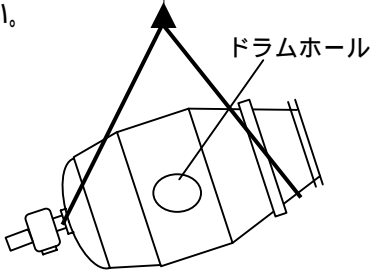
参考に付着物のないドラム質量(含む減速機)を記します。

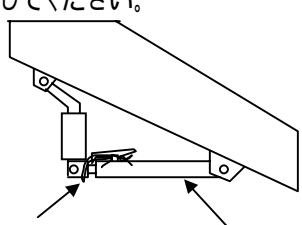
No.	ドラム最大混合容量	ドラム質量
1	1.7 m ³	約 600 kg
2	2.2 m ³	約 750 kg
3	2.8 m ³	約 1,100 kg
4	3.0 m ³	約 1,200 kg
5	4.5 m ³	約 1,400 kg
6	5.2 m ³	約 1,600 kg

3. 解体前の準備作業

- 1) 下記の要領で作動油を抜き取ってください。
 - ・ 油圧ポンプの吸い込みホースをオイルタンクから外し、ホース中の油を抜き取ります。
 - ・ 油圧ポンプと油圧モータをつないでいるホースを順次油圧モータ側から取り外しホース内の油を抜き取り、ホースを油圧ポンプから分離します。
 - ・ 他の作動油タンクにつながるホースを油圧ポンプ、油圧モータから取り外しホース内の油を作動油タンクに戻します。
 - ・ 作動油タンクのオイルドレーンプラグを外し油を全て抜き取ります。以上で作動油の抜き取りを終了しますが、作業時に油を地面に垂らさないよう油受けを使用してください。また、機器に付着した油は布などで拭き取ってください。
- 2) 減速機の油の抜き取り
 - ・ 減速機のオイルドレーン口の下に油受けを置き、プラグをゆるめて油を抜き取ってください。この作業は、減速機をドラムと一緒にミキサ架台から解体後実施することもできます。

4. 解体手順

品目 番号	品目名	解体方法	鉄以外の材質 1	注意事項
	事前処理	コンビネーションランプ、ライセンスプレートランプ、サイドフラッシュランプ、リヤリフレクタなどのシャシ側部品を取り外してください。		シャシ側部品はシャシと一緒にしてリサイクルルートに載せてください。
1	ドライブシャフト (一部の小型機種には装着されていません)	油圧ポンプを駆動しているドライブシャフトをシャシエンジンの後方出力軸、および油圧ポンプへの取り付けボルトを外し分離してください。		エンジンは必ず停止した状態で実施してください。
2	ホッパ	ホッパをクレーンなどで吊り下げ、ドラムの後方支持台からホッパの取り付けボルトを外しドラムとホッパを分離してください。ホッパ上部ゴムとホッパ、ドラムの間にあるシールゴムの分別処理してください。ホッパはリサイクルしやすいように溶断などで切断してください。付着しているコンクリートはバイブレータなどで、はつり除去してください。 ホッパにホッパカバーが付いている場合は、一緒に解体し分別処理してください。	上部ゴム：樹脂 材料表参照 シールゴム：布入りゴム	溶断時、コンクリートがはじけることがあるので注意してください。
3	ドラム	ドラムと減速機の間、およびドラムの後部リング部分の2カ所でドラムを吊り上げられるように準備してください。減速機の架台への取り付けボルトを外し、ドラムと減速機を一緒に吊り上げ外してください。ドラムはリサイクルしやすいように溶断などで切断してください。付着しているコンクリートはバイブレータなどで、はつり除去してください。  ドラム外面のドラムホールのパッキンをゴムとして分離して分別処理してください。	ドラムホールパッキン：ゴム	溶断時、コンクリートがはじけることがあるので注意してください。

品目 番号	品目名	解体方法	鉄以外の材質 1	注意事項
4	減速機 & 油圧 モータ 2	減速機を吊り上げながら、ドラムからボルトを外して取り外してください。 減速機の油が抜いてない場合はここで抜き取ります。減速機から油圧モータを分離します。取り付け面にOリングが有る場合は分別処理してください。	減速機内部には シールゴムがあります。 油圧モータ内部 には銅合金、シ ールゴムがあり ます。	
5	シュート & ガイ ド	ガイドを後方支持台からボルトを外して取り外します。ガイドに取り付けられているシール部品、ノレンは分離して分別処理します。シュート本体を取り外す前に、シュートステイの伸縮部分を針金等で伸びないように固縛してください。  ワイヤ等 シュートスラストバー (油圧シュートの場合は不要) この状態でシュート本体を取り付けている上下 2 本のピンを抜き取り、シュート本体を取り外します。シュート上面のシュートゴムは分別処理してください。シュート本体はリサイクルしやすいように溶断などで切断してください。シュート、ガイドとも付着しているコンクリートはバイブレータなどで、はつきり除去してください。	シール部品：樹 脂材料表参照、 無い場合はゴム です。 ノレン：樹脂材料 表参照 シュートゴム：ゴ ム	シュートスラストバーにはスプリングが内蔵されており、ピンを外すと急に伸びるのでしっかり固縛してください。作業時は注意して行ってください。 溶断時、コンクリートがはじけることがあるので注意してください。
6	サイドガード & 車輪止め	取り付けボルトを外し分離します。車輪止めは分別処理してください。	車輪止め：樹脂 材料表参照	
7	フェンダ & 泥よ け	取り付けボルトを外し分離します。泥よけ、コーナプロテクタはゴムまたは樹脂として分別します。フェンダ上面滑り止めを分離します。	滑り止め：アルミ またはゴム 泥よけ：樹脂材 料表参照 コーナプロテク タ：ゴム	

品目 番号	品目名	解体方法	鉄以外の材質 1	注意事項
8	キャブ内操作 コントロールケ ーブル	キャブ内のミキサ操作装置からコントロールケーブルの取り付けネジを外します。キャブをティルトさせ、キャブ下面に配策されているコントロールケーブルを取り外し、金属部分とその他を分離して分別処理します。	コントロールケーブル ブーツ、グロメット:ゴム 被覆:樹脂材料 表参照	
9	前方支持台 & 後方支持台	シャシフレームに止めているUボルト、クランプボルト類を外します。シャシから吊り上げ分離し、支持台本体はリサイクルしやすいように溶断などで切断します。支持台とシャシフレーム間のスペーサを剥がしとります。	スペーサ:布入り ゴムまたは再生 プラスチック	
10	ドラムローラ	後方支持台に取り付けられているローラは樹脂製なので分別処理します。ローラを取り付けているシャフトを抜き取り、ローラを取り外します。ローラ内にベアリングが挿入されているので分離します。	ローラ:樹脂材 料表参照	
11	水タンク	取り付けバンド、配管を外し、タンク本体を樹脂として分離します。水タンクに取り付けられている、水タンクホース類を分離して分別処理します。	水タンク:樹脂材 料表参照 取り付けバンド: ゴムカバー付き の場合有り 水タンクホース: 樹脂材料表参照	
12	水ポンプ & 水 配管	水ポンプ廻りの配管、継ぎ手、電線を外し分離します。水ホース、ボールバルブ、ノズルを解体し分別処理します。ボールバルブはレバービニル被覆、内部金属ボール、樹脂座に分離して分別処理します	水ポンプにはアルミ、銅合金が使われています。 水ホース:樹脂材料表参照 ノズル:亜鉛合金	
13	操作装置 & 連 結ロッド類	前方、後方支持台に取り付けられている操作レバー、ロッド類のネジをゆるめて取り外します。操作レバーの把手は樹脂として分別処理します。またロッド端末のロッドエンド、上方操作レバーのゴムカバー等を分別処理します。	ロッドエンド 本体:亜鉛合金 ボール:鉄 ブーツ:NBR	

品目 番号	品目名	解体方法	鉄以外の材質 1	注意事項
14	工具箱	取り付けボルトを外し支持台から分離します。工具箱内の敷き板は木材または廃プラスチックとして分別処理します。	敷き板：木材、または樹脂材料表参照	
15	作動油タンク	締め付けバンドを外し、分離します。レベルゲージ、フィルタを分離して分別処理します。フィルタはケースを分解し、内部の紙フィルタを分別処理します。油は作動油として回収します。	締め付けバンド： ゴムカバー付き の場合有り	
16	油圧ポンプ & ホース 3	取り付けボルトを外し、ホースを取り外し分離分別処理します。金具付きホースは金具部分を分離して分別処理します。	油圧ポンプには 銅合金、シール ゴムが使われて います 油圧ホース：布入 りゴム	
17	フェンダ後方ス テップ	ステップは架装物なので、シャシフレームからネジ止め部を解体、または溶断分離します。		
18	作業灯・路肩 灯・スイッチボ ックス	電線を外し作業灯、路肩灯を分離します。各灯器は金属部分と樹脂部分、ランプに分別処理します。スイッチボックスは樹脂部分、金属部分、電線に分離して分別処理します。	電線：樹脂材料 表参照 スイッチボッ クス ケース：樹脂材 料表参照	
19	各種ネームプ レート	リベット締めされている製造プレートはアルミ製なので分別処理します。	製造プレート：ア ルミ	

1：表中の「樹脂材料表参照」とあるものは、後方支持台側面に取り付けられている、「架装物樹脂類材料表」を参照してください。

2,3：減速機、油圧ポンプ、油圧モータは解体するのに専門知識、工具が必要です。専門業者に委託して適切に処理してください。

5. お問合わせ窓口

本解体マニュアルに関しまして、お問合わせ事項等がございましたら下記までお願い致します。

新明和工業株式会社 特装車事業部 技術部

TEL : 0283-23-2226